

市民の皆様には、日頃より新型コロナウイルス感染症対策にご理解、ご協力いただいていることに感謝申し上げます。

室蘭市内における直近1週間（5月8日から14日）の感染状況は449人と、過去最多を記録するほどの増加傾向にあります。学校などへ通われるお子さんの感染のほか、連休中の移動先での接触機会や夜間滞留人口の増加による感染、そして市内複数医療機関でのクラスターの発生が増加要因と考えられます。感染された方やそのご家族には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い回復をお祈り申し上げます。

このような市内の感染状況の中、今のところ、市民活動や学校活動などへの制限を加える予定はありません。その代わりに、公的機関から公表されている感染状況を一人一人が認識し、誰もが感染するリスクがあるという現状に対して、今まで続けてきた感染予防対策を改めて確実に実施していくことが、自分を始め、回りの人への感染リスクを下げる近道となるはずです。引き続き、感染リスクの低減に向けた取り組みにご協力をお願いいたします。

#### 【感染対策の徹底】

オミクロン株においても基本的な感染防止策は非常に有効です。三密（密集、密閉、密接）の回避、不織布マスクの正しい着用、手指消毒、換気を徹底しましょう。

#### 【飲食では】

短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。

#### 【体調管理】

ご自身やご家族の命を守るため、発熱やのどの痛み、倦怠感など少しでも体調が悪ければ外出を控え、医療機関を受診しましょう。

3回目のワクチン接種については、5月11日時点で高齢者の92パーセント、市民全体では59パーセントの接種状況となっています。ご自身や親しい方々を守るために、ワクチンの種類に関わらず、3回目を早めに接種していただきますよう、ご検討をお願いいたします。

一人ひとりの他者を思いやる行動が、感染拡大を食い止めることにつながります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年5月16日  
室蘭市長 青山 剛